平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	保健医療サービス (Health and Medical Service)			授業コード	E042201
担当教員名	岡江　晃児			科目ナンバリングコード	E30925
配当学年	3	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件					
受講心得	講義をよく聞くとともに、講義を通して積極的な議論を行う。私語は禁止する。				
教科書	特にありません。				
参考文献及び指定図書	授業で紹介する。				
関連科目	高齢者福祉・介護保険				

授業の目的	社会福祉士試験を受験し、合格できる力を付ける。 ソーシャルワーク実践力をつける。
授業の概要	保健医療サービスと社会福祉専門職の役割、保健医療サービスを提供する施設とシステム、医療ソーシャルワーカーの役割、保健医療サービスの提供と社会保障等の問題について授業を行う。出席、議論、レポートで評価する。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第１週： 現代の保健医療と福祉における諸問題 保健医療をめぐる社会環境の変化、医療概念の拡大と福祉サービスの普遍化、保険医療福祉の現代的課題と役割	予習:なし 復習:レポート提出(1時間)・次回の授業にてフィードバックを行う
第２週：「保健医療福祉」とは何か 保健医療と社会福祉の関係性、医療と福祉の関係性、保健医療と福祉の共通基盤と課題	予習:なし 復習:レポート提出(2時間)・次回の授業にてフィードバックを行う
第３週： 医療・病院の歴史と医療ソーシャルワークの展開 保健医療の歴史的展開、医療ソーシャルワークの発生、医療ソーシャルワークの展開	予習:なし 復習:レポート提出(3時間)・次回の授業にてフィードバックを行う
第４週： 保健医療福祉にとって「患者・家族」とは何か 患者とクライエント、医療者とクライエントの関係性、ライフサイクルと生活課題による患者の理解	予習:なし 復習:レポート提出(4時間)・次回の授業にてフィードバックを行う
第５週： 保健医療と福祉をめぐる価値と倫理 パターナリズムと自己決定、保健医療における患者の権利、ソーシャルワークの取り組むべきもの	予習:なし 復習:レポート提出(5時間)・次回の授業にてフィードバックを行う
第６週： 医療組織とチームワーク	予習:なし

医療組織とは、チームワークとは、チームワークからネットワーキングへ	復習：レポート提出（6時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第 7 週 ： チーム医療 チーム医療におけるソーシャルワーカーの役割、他職種連携	予習：なし 復習：レポート提出（7時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第 8 週 ： 保健医療をめぐる社会保障の枠組み 社会保障制度の概略、医療保障制度の概略	予習：なし 復習：レポート提出（8時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第 9 週 ： 医療保健の仕組みと医療・所得保障 医療保健制度の概略、傷病時の所得保障、生活保護による所得保障	予習：なし 復習：レポート提出（9時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第10週： 保健医療サービスと福祉をめぐる施設と体制 保健医療の施設とサービス供給の関係、介護保険の施設と福祉・介護サービス、保健医療と福祉のマンパワーと供給システム	予習：なし 復習：レポート提出（10時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第11週： 保健医療と福祉・介護をめぐる施設と地域体制 医療・福祉サービスの供給体制とネットワーク、障害者福祉サービス、専門機関・専門職の活動	予習：なし 復習：レポート提出（11時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第12週： 保健医療領域における特徴的諸問題とソーシャルワーカーの業務と役割 医療ソーシャルワーカーの業務指針、保健医療ソーシャルワーカーの業務	予習：なし 復習：レポート提出（12時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第13週： 医療の場におけるソーシャルワークの援助過程 援助過程	予習：なし 復習：レポート提出（13時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第14週： 保健医療ソーシャルワークの実際 ミクロレベルの活動、メゾレベルの活動、マクロレベルの活動	予習：なし 復習：レポート提出（14時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第15週： 保健医療サービスの今後の動向とソーシャルワークの課題 保健医療サービスの今後の動向	予習：なし 復習：レポート提出（15時間） ・次回の授業にてフィードバックを行う
第16週： 事例検討	予習：なし 復習：レポート提出

授業の運営方法	**（1）授業の形式**	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	講義をよく聞き、積極的に議論をする。
【知識・理解】	講義で取り上げた内容を理解する。
【技能・表現・コミュニケーション】	積極的に他者と対話を行い、ソーシャルワークを理解を深める。授業で与えられたレポートをまと
【思考・判断・創造】	授業を通して創造力を広げ、ソーシャルワーク実践力を高める。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	20点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。		10点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	20点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	出席・授業中の議論・レポートで総合的に評価する。
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	